



令和5年度

# 事業報告書

一般社団法人 北海道軽種馬振興公社

## 議案第1号 令和5年度事業報告

### 令和5年度事業報告（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

当社は、ホッカイドウ競馬を継続かつ安定的に運営し、令和3年3月に北海道が策定した第3期「北海道競馬推進プラン」を達成するため、「北海道競馬の実施に関する業務」の委託を受け、馬資源の確保と屋内調教用坂路などの競馬場施設の効率的・効果的な利用を図ることを基本として競馬事業の運営にあたった。

#### 1. 公社運営に関する会議等

##### (1) 総会

###### ア 第47回通常総会

令和5年7月14日

- ・ 令和4年度事業報告
- ・ 貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について
- ・ 役員を選任について

##### (2) 理事会

###### ア 令和5年度第1回理事会

令和5年6月26日

- ・ 令和4年度事業報告
- ・ 貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について
- ・ 常務理事の設置について
- ・ 定款の改正について
- ・ 第47回通常総会の開催について

###### イ 令和5年度第2回理事会

令和5年7月14日

- ・ 理事長・副理事長・専務理事及び常務理事の選定について

###### ウ 令和5年度第3回理事会

令和5年8月24日

- ・ 門別競馬場基幹施設整備計画及び進捗状況について
- ・ 門別競馬場基幹整備の実施方法について

###### エ 令和5年度第4回理事会

令和5年12月4日

- ・ 令和5年度ホッカイドウ競馬開催結果について
- ・ 令和6年度ホッカイドウ競馬開催日程等について
- ・ 門別競馬場施設整備について

## オ 令和5年度第5回理事会

令和6年3月26日

- ・事業運営の基本方針について
- ・令和6年度事業計画（案）について
- ・令和6年度収支予算（案）について

### (3) 監査

#### 監事監査

令和5年6月2日

## 2. 北海道競馬実施事業

### (1) 競馬事業費について

公社が道から委託及び補助を受け実施した業務の事業費は40億79百万円。

内訳	・競馬事業費	28億75百万円（予算額29億18百万円）
	・管理事業費	12億04百万円（予算額13億25百万円）

### (2) 開催日程について

令和5年度のホッカイドウ競馬は、4月19日に開幕し、天候に恵まれたことにより、当初計画どおり11月9日までの82日間を開催することができました。

発売成績については、インターネット投票の発売金額が顕著に推移したことにより、昨年に引き続き4年連続で500億円台を確保し、前年より3日間少ない開催日程ながら発売計画対比では111.9%、1日当たりの発売額は6億2,537万7千円（前年度6億2,092万4千円）となり前年を上回る結果となりました。

また、1競走の発売金額については、6月1日の北海道スプリントカップ競走で前年度を上回る7億3,319万9千円を記録したほか、11月3日のJBC2歳優駿競走では10億875万3,000円と1競走の発売金額レコード記録を更新しました。

### (3) 報償費について

全国的なダート競走の体系整備を受け、ホッカイドウ競馬でも重賞競走体系の見直しを図り、一部重賞の本賞金を増額するほか、2歳の新たな短距離重賞「ネクストスター門別」を実施しました。

また、3歳以上競走の最低賞金を増額をはじめ、全体的な賞金額の底上げを図ったほか、2歳上級認定競走の本賞金増額や、出走手当の見直しを行い、出走馬の確保と競走の充実に努めました。

さらに、春先の出走馬確保を目的に、早期出走奨励金・冬期在厩3歳馬手当や冬

期他場重賞遠征費補助などの新たな施策にも取り組みました。

なお、輸送費と馬購入費に対する補助事業についても継続し、スタリオンシリーズにつきましても、一般社団法人ジャパンプリーダーズカップ協会様・公益社団法人日本軽種馬協会様のご支援のもと、例年同様実施しました。

また、重賞競走（2歳戦を除く）において、定めたカテゴリーの競走に多勝利した馬主およびきゅう舎関係者に報償金を支給するカウントアップチャレンジ競走につきましても、一般社団法人ジャパンプリーダーズカップ協会様のご支援のもと、継続実施しました。

報償費総額	3 2 億 9 0 百万円
（うち J R A 協力金	3 億 5 2 百万円）
（うち J B C 協会寄付金	2 0 百万円）

#### **(4) 発売拡大の取り組み**

令和5年度は、発売額の大半を占める在宅投票を意識した魅力ある情報や、ホッカイドウ競馬の特色である2歳戦にフォーカスした新たな情報の提供に向けた取組を進めたほか、門別競馬場ではコロナ禍で縮小していた集客イベントを再開しファンサービスの充実を図り顧客の拡大を図りました。

##### **ア 集客イベント**

本場での主な集客イベントについては、次のとおりです。

- ・開幕イベント（4/19）
- ・春のケイバまつり（5/3～5/4）
- ・夏のケイバまつり（8/15～8/17）
- ・2023 ホッカイドウ競馬ファイナルウィーク（11/3～11/9）

例年実施している「開幕」、「春」、「夏」、「秋」のイベントに加え、近隣町村に協賛をいただき実施している1DAYイベントに合わせて特産品の物販や抽選会に加え、地元中学、高校生によるファンファーレ生演奏などを実施しました。

また、昨年引き続き、スポーツ紙とのタイアップによる広告や雑誌掲載等の様々なメディアを活用した情報発信の充実に努めました。

##### **イ 他主催者との連携強化による相互発売**

南関東とホッカイドウ競馬の相互発売については、場外発売の収益維持のため、連携強化に努めました。

##### **ウ 電話・インターネット投票**

近年、好調なインターネット投票の更なる発売拡大を図るため、予想情報の少ない2歳の能力検査や重賞競走と新馬戦出走予定馬の坂路調教映像を

YouTube で公開したほか、ホッカイドウ競馬 L I V E 「なまちやき」をスタートし、情報発信の充実に努めました。「なまちやき」は、毎週木曜日を中心に多彩なゲストを迎え全 4 3 回配信し、チャンネル登録者数については 1 万 3 千人を達成しました。

## エ 全国発売競走

全国重賞シリーズであるグランダム・ジャパン、ダービーシリーズ、スーパースプリント競走、3 歳秋のチャンピオンシップ、未来優駿などのシリーズ競走に参画したほか、ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別を実施し、全国発売による発売拡大を図りました。

## オ JRA 発売

道内のホッカイドウ競馬場外発売所における J R A 発売は、当初予定どおり 1 0 7 日間の発売となりました。

また、場外発売所への来場促進策および発売拡大策として、以下のイベントを実施しました。

- ・ A i b a 千歳で競馬を愉しみ J R A 札幌競馬場に行こう！（7 月 1 5 日～ 1 0 月 1 日）
- ・ホッカイドウ競馬 L I N E 公式アカウントの来場ポイントを貯めて 北海道グルメをもらおう！（1 2 月 2 3 日～ 1 月 6 日）
- ・ J R A ・地方競馬の馬券を買って ウインズ札幌に行こう！（2 月 1 0 日～ 3 月 3 日）

## (5) 競馬番組について

競馬番組は、競馬事業の根幹部分であることから、ファンに魅力ある競走を提供していくことが重要です。

ホッカイドウ競馬では、日本中央競馬会や地方競馬全国協会並びにジャパンブリーダーズカップ協会、日本軽種馬協会など各方面からのご支援やご協力のもと、各世代においてバリエーション豊かな競走距離を編成することにより競馬番組の充実に図りました。

## ア JRA 認定競走

J R A 協力金のもと、全国最多の 1 1 0 競走を実施しました。

- ・重賞競走等 1 0 競走
- ・ウィナーズ 1 2 競走
- ・フレッシュ 5 3 競走
- ・アタック 3 5 競走

## イ JBC協会協賛 スタリオンシリーズ競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として、全国から注目されているスタリオンシリーズ競走を、JBC協会のご支援のもと全52競走実施しました。

- ・重賞競走 26競走
- ・特別競走（3歳以上） 9競走
- ・スタリオンプレミアムシリーズ競走 17競走

## ウ JBC協会協賛「きゅう舎スタッフ特別賞」

きゅう舎関係者の技術向上の意欲を高めるため、JBC協会のご支援のもと重賞競走及び3歳条件競走で優勝したきゅう舎に特別賞を交付するJBC協会「きゅう舎スタッフ特別賞」を贈呈しました。

- ・対象競走
  - 2歳重賞競走 10競走
  - 3歳重賞競走 4競走
  - 3歳条件競走 22競走
- ・交付金
  - 重賞競走 10万円
  - 3歳条件競走 5万円

## エ JBC協会協賛「カウントアップチャレンジ2023」

3歳以上の重賞競走を距離適性に応じてシリーズ化し、各カテゴリー（カウントアップS、カウントアップM、カウントアップL）において複数回優勝した馬主及び調教師に対して、JBC協会からボーナスが贈呈されました。

- ・2023対象馬
  - カウントアップS スティールペガサス2勝（角川きゅう舎）200万円
  - カウントアップM シルトプレ2勝（米川きゅう舎）200万円

## オ 公益社団法人日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の継続と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営の安定化に資する観点から、日本軽種馬協会の支援のもと実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全45競走を対象に実施しました。

（総額1,150万円）

## カ 2歳優良馬導入促進事業の実施

良質な2歳馬の地方競馬への早期入厩促進を図ることを目的に、地方競馬全国協会が実施する事業を活用し、2歳限定競走（JRA認定競走を除く）において付加賞金を1着馬から5着馬までの馬主に贈呈しました。

- ・付加賞金（進上金、番組賞金加算対象外）
  - 1着60万円、2着16.8万円、3着12.6万円、4着8.4万円、5着4.2万円
  - （1Rあたり：102万円）55競走

- 1着 80万円、2着 22.4万円、3着 16.8万円、4着 11.2万円、5着 5.6万円  
(1Rあたり：136万円) 1競走  
・実施競走数 56競走

## キ NAR生産牧場賞

生産地への還元と生産者における地方競馬の魅力を高める取り組みとして、地方競馬が実施するダートグレード競走、2歳新馬の競走の1着馬の生産牧場に対し、日本軽種馬協会の支援のもと、地方競馬全国協会から「NAR生産牧場賞」が贈呈されました。

- ・ダートグレード競走 50万円
- ・2歳新馬競走 30万円

## ク 地方競馬全国協会シリーズ競走への参加

### ・スーパースプリント

短距離競走をシリーズ化して実施する「スーパースプリントシリーズ」に参加。

- ・対象競走「グランシャリオ門別スプリント(ターオブロンソン賞)」1着本賞金500万円

実施日 7月4日(火) 距離1,000m  
発売額 257,647千円

### ・グランダム・ジャパン

牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズグランダム・ジャパン」に参加。

- ・対象競走「ノースクイーンカップ H2(ダノスマッシュ賞)」1着本賞金600万円

実施日 7月6日(木) 距離1,800m  
発売額 227,538千円

- ・対象競走「フリーダースゴールドカップ JpnⅢ」1着本賞金3,100万円

実施日 8月17日(木) 距離2,000m  
発売額 645,106千円

- ・対象競走「エーテルワイス賞 JpnⅢ」1着本賞金2,000万円

実施日 11月1日(水) 距離1,200m  
発売額 537,783千円

### ・ダービーシリーズ

ジャパンドートダービーに向けた地方競馬の3歳重賞体系整備を目的とし、全国8か所で実施される「ダービーシリーズ」に参加。

- ・対象競走「北海優駿 H1(ルヴァンスレーヴ賞)」1着本賞金1,000万円

実施日 6月15日(木) 距離2,000m  
発売額 323,153千円

### ・3歳秋のチャンピオンシップ

ダービーグランプリに向けた地方競馬の秋の3歳重賞体系整備を目的とし、全国11か所で実施される「3歳秋のチャンピオンシップ」に参加。

#### ・対象競走「王冠賞 H2(サノクラウン賞)」1着賞金500万円

実施日 8月29日(火) 距離1,800m

発売額 348,221千円

### ・未来優駿

兵庫ジュニアグランプリや全日本2歳優駿に向けた2歳重賞体系整備を目的に設定され、全国10か所で実施される「未来優駿」に参加。

#### ・対象競走「ネクストスター門別 H1(サンダースノー賞)」1着賞金1,000万円

実施日 10月5日(木) 距離1,200m

発売額 209,398千円

#### ・対象競走「JBC2歳優駿(パイロ賞)」1着賞金3,500万円

実施日 11月3日(金) 距離1,800m

発売額 1,008,753千円

### ・ヤングジョッキーズシリーズ

若手騎手の騎乗数の確保と騎乗技術の向上を図るため、JRAと地方の見習騎手が参加する騎手交流競走を「2023ヤングジョッキーズトライアルラウンド門別」として実施しました。

実施日 7月19日(水) 2競走

## (6) ファンサービスについて

令和5年度は無料送迎バスの運行を再開したほか、イベント広場を活用した春・夏・秋のケイバまつりの実施など集客に努めるとともに、イメージキャラクターに杉谷拳士氏を起用し、開幕CM告知などの年間を通じた幅広い層へのホッカイドウ競馬の認知拡大に努めて参りました。

特に主要なターゲットとなる在宅投票の道内外のファンに向けては、ホッカイドウ競馬ならではの2歳馬情報をYouTube配信したほか、様々なメディアを通じた情報発信に力を入れて参りました。

中学・高校吹奏楽部によるファンファーレ生演奏やイベント広場を活用したホスピタリティの高いファンサービスの提供や地元と連携したイベント、連携企業や道内スポーツクラブとタイアップしたイベントなどファンサービスを強化し、新たなファンの獲得とリピーターの拡大に努めました。

また、JBC競走共催場である大井競馬との連携を強化し、馬産地ホッカイドウ競馬を全国の競馬ファンへアピールするとともに、当日の競馬参加者の拡大を図りました。



## ア イメージキャラクター起用

ホッカイドウ競馬公式アンバサダーとして、元日本ハムファイターズ杉谷拳士氏を起用、イメージポスターやCM出演のほかトークショーイベント出演などより多くの競馬ファンの来場促進を図りました。

## イ 地域吹奏楽部によるファンファーレ演奏

JBC 2歳優駿競走の実施日において、昨年に引き続き大井競馬場と連携し、東京トゥインクルファンファーレ隊による生演奏、地元富川高校吹奏楽部を招いたコラボ演奏を実施しました。

8月2日の「びらとりDAY」では平取中学校吹奏楽部、最終日の「道営記念」では富川高校吹奏楽部によるファンファーレ生演奏を実施しました。

## ウ イベント広場の活用

北海道の四季に合わせた春・夏・秋のイベントにおいて、地元食材や観光PR「特産市」などの場を提供しました。

また、10月11日には大井競馬場で出店している「煮込みとビールのお店 253 by STAR LIGHT」が門別競馬場で特別出店しました。

## エ 道外新聞への馬柱掲載の充実

発売額が好調に推移したインターネット及び電話投票の更なる発売拡大を図るため、これまで同様広いエリアでの認知を高めることを目的に、関東・東海・関西エリアのスポーツ新聞に馬柱掲載を行いました。

〔サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、九州スポーツ 8紙2レース掲載〕

また、週刊競馬ブックでの重賞競走馬柱掲載やブックオンライン（ホームページ）無料ダウンロードも後半5レースから全競走に拡大し、開催期間合計で40万ダウンロードを記録しました。

## オ SPAT4及び楽天競馬との連携

これまで実施している南関東電話投票（SPAT4）及び楽天競馬との連携により、会員へのメール配信・ホッカイドウ競馬情報の郵送・動画配信、日高の特産物やオリジナルグッズなどが当たるファンプレゼントの継続実施のほか、ネット上において他の主催者と競合する企画と差別化を図るため、道内の企業の協力を得て北海道ブランドを前面に打ち出したプレゼントキャンペーンを実施しました。昨年に引き続き購入者を対象としたSPAT4馬産地見学ツアー等を実施しました。

## カ 無料送迎バスの集客拡大

札幌圏からの来場促進を目的とした、札幌駅北口から門別競馬場までの無料送迎バスの運行を再開し、82日間合計99便を運行、予約人数は延べ3,290人、1台平均33人利用しました。

### (7) 北海道著名企業とのコラボレーション

「MADE IN HOKKAIDO KEIBA」をスローガンに、北海道を代表する著名企業とのコラボレーションを図りました。

- ・ サッポロビール、ポッカサッポロ  
重賞競走の協賛、協賛競走の実施やプレゼント抽選会
- ・ AIRDOサンクスデー  
重賞競走の協賛、機内販売スープの試飲会やオリジナルグッズ抽選会
- ・ レバンガ北海道ティップオフナイター  
重賞競走の協賛、現役選手とのファン交流会や予想トークステージ
- ・ ソメスサドル  
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ 北海道コンサドーレ札幌DAY  
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ ホクレンDAY  
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ 雪印メグミミルク  
重賞競走の協賛、先着プレゼントの賞品提供など
- ・ 北海道日本ハムファイターズ  
ホッカイドウ競馬スペシャルナイターの実施など

### (8) 門別競馬場を活用した馬産地の活性化（公益目的実施事業）

公益目的実施事業として、軽種馬生産の振興と馬産地の活性化に資するためのイベントを実施しました。